

大分県臼杵市 「高齢化に対応する医療・介護の連携」

【自治体概要（R4.4.1現在）】

人 口	36,608人
高 齢 化 率	41.56%
認 定 率	18.29% (令和4年3月末時点)
日常生活圏域数	1圏域

切れ目のない在宅医療と介護の連携体制を構築するためには、在宅療養者の生活の場において、医療と介護の連携した対応が求められる場面（①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取り）を意識した取組が必要。多様な機関（職種）が相互に連携することができるよう、「臼杵市Z会議」、「うすき石仏ねっと」、多職種事例検討会、医療、介護、福祉、行政など多職種が参加する研修会などを活用し、情報の共有と医療・介護関係者の意識の醸成を図っている。

臼杵市Z会議

【取組経緯】

「老いても病んでも、どう過ごしていきたいか」という本人の思いを支えるため、平成24年度に在宅医療連携拠点事業として「プロジェクトZ」を組織。平成28年度からは在宅医療・介護連携推進事業の枠組みの中で推進していくため「臼杵市Z会議」と名称を変え、医療と介護、福祉、行政などが連携して地域で支える仕組みづくりに取り組んでいる。（臼杵市医師会に委託）

【取組内容】

本人の思いに寄り添った支援を行うために、必要な医療・介護サービスを適切に選択できるよう、在宅医療・介護や看取りについての理解が深められるよう、講演会等の開催や普及啓発本を作成し、医療・介護関係者だけでなく地域住民への普及啓発を実施。

地域の医療介護の多様なニーズに対応するため相談窓口を設置するとともに、令和3年からは、現場の生の声を事業展開に反映させていくためのチーム「みらいとりんく」を設置。

【取組効果】

意識の醸成

【今後の展望等】

取組全体を振り返り、中長期的なロードマップを描き、事業の継続可能性を高める。

うすき石仏ねっと

【取組経緯】

高齢化に伴い充実した医療介護体制が求められているが、支える人材が不足しつつある中、効率的な医療・介護・福祉等の更なる連携が必要だった。

【取組内容】

年齢に関わらず、臼杵市内の医療・介護・福祉・行政等の機関を結ぶ臼杵市独自の医療・介護・包括型ICTネットワーク。
関係者間で、市民の健康、病気、調剤、健診等のデータを情報共有することで、より効率的な医療介護提供体制の構築を図る。

【取組効果】

- 加入者数：22,856人（R3.2月末時点）
- 関係者間で情報共有し、無駄のない安心安全で質の高い医療・介護サービス等の提供。
- 救急時の到着前の処置の準備、搬送先の選定などが出来るため、適切かつ迅速な初期対応に役立っている。
- 災害時にも医療や援助が必要とされる者の情報共有が可能。

【今後の展望等】

- 加入促進を図りながら多様な機関（職種）が今まで以上に効率的かつ効果的に活用されるよう、更なる改良を進める。
- 妊娠期から終末期まで生涯にわたり健診結果等の情報が医療介護分野で利活用できる仕組みを構築する。
- 県内の医療ICTネットワークとの連携を進め、更なる医療介護提供体制の充実を図る。

